

◆団体基本情報

No.	1	種別	公益財団法人	団体名	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団		
所在地	〒980-0804 仙台市青葉区大町二丁目12-1						
電話番号	022-268-4789		FAX番号	022-225-2791		所管部局	市民局 地域政策課
団体ホームページ	https://www.hm-sendai.jp/						
代表者職氏名	理事長 板橋 秀樹			設立年月日	平成3年1月25日		
資本金・基本財産	400,000 千円		市の出捐額(割合)	400,000 千円		(100.0%)	
設立目的	仙台市内のコミュニティの推進及び振興を図るため、地域における多様なコミュニティ活動を支援する事業、生涯学習を支援する事業及び児童の健全育成を支援する事業を行い、もって連帯と協調にあふれた住みよい地域社会の実現に寄与することを目的とする。						
事業概要	(1)生涯学習によるコミュニティの振興及び関連活動の支援事業 (2)児童の健全育成による地域コミュニティづくり事業 (3)地域文化活動振興によるコミュニティづくり支援事業 (4)地域コミュニティまつり支援事業 (5)交通の安全確保による地域コミュニティづくり支援事業 (6)勤労者の福祉の向上に資する事業						
評価対象決算期	令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日						

◆人員等の状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
①常勤役員数	3 人	3 人	3 人
うち市派遣	0 人	0 人	0 人
市退職者	3 人	3 人	3 人
②常勤役員平均年齢	62.7 歳	63.7 歳	62.3 歳
③常勤役員平均年間報酬	5,341 千円	5,358 千円	5,374 千円
④職員数	1,102 人	1,120 人	1,117 人
うち市派遣	1 人	1 人	1 人
市退職者	97 人	99 人	102 人
⑤職員平均年齢	48.7 歳	49.8 歳	50.7 歳
⑥職員平均年間給与	2,794 千円	2,774 千円	2,887 千円

◆主要財務データ

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
①当期経常増減額	16,890 千円	△ 15,169 千円	△ 18,405 千円
②当期経常外増減額	17,560 千円	17,931 千円	20,236 千円
③当期一般正味財産増減額	34,178 千円	2,491 千円	1,559 千円
④一般正味財産期末残高	△ 12,847 千円	△ 10,356 千円	△ 8,797 千円
⑤指定正味財産期末残高	400,000 千円	400,000 千円	400,000 千円
⑥正味財産期末残高	387,153 千円	389,644 千円	391,203 千円
⑦長期借入金残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆市の財政的関与

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
①市からの補助金	87,024 千円	87,960 千円	83,239 千円
②市からの委託料(指定管理料含む)	5,149,632 千円	5,186,901 千円	5,341,557 千円
③市に対する収入依存度	96.38 %	96.45 %	96.49 %
④市からの借入金	0 千円	0 千円	0 千円
⑤市からの債務保証に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円
⑥市からの損失補償に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆主要事業一覧及び概要

事業名	事業概要	令和2年度事業費
生涯学習によるコミュニティの振興及び関連活動の支援事業	①コミュニティの振興のための生涯学習事業 ②生涯学習、地域情報の収集・提供及び相事業 ③生涯学習活動、地域活動拠点施設の管理運営と関連活動の支援事業	1,968,308 千円
児童の健全育成及び子育て支援に関する事業	①児童健全育成に係る事業及び児童厚生施設の管理運営 ②子育てを支援する事業 ③地域コミュニティを推進する事業	2,482,497 千円
地域文化活動振興によるコミュニティづくり支援事業	①地域文化を創造する事業 ②地域文化活動拠点施設等の管理運営と文化活動の育成支援事業 ③地域の歴史に関する伝承活動	756,427 千円
地域コミュニティまつり実施に係る支援事業	地域の町内会等が行うコミュニティまつりの助成	1,605 千円
図書サービスの提供によるコミュニティづくり支援事業	移動図書館車による仙台市内の図書サービスの実施	44,686 千円
交通の安全確保による地域コミュニティづくり支援事業	①幼児・児童・保護者・高齢者に対する交通安全教育事業 ②各種イベントと連携した交通安全教育事業 ③自転車の安全運転啓発活動 ④違法駐車等防止活動	29,721 千円
勤労者の福祉の向上に資する事業	①在職中の生活安定に係る事業 ②余暇活動に係る事業 ③健康維持増進に係る事業 ④自己啓発に係る事業 ⑤老後生活の安定・財産形成に係る事業 ⑥情報提供事業	203,707 千円

◆経営評価の総括

項目	外郭団体による総括	所管局によるコメント
1. 公益的使命・市が期待する役割への対応	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、文化センター・市民センターの利用件数及び講座等の事業数、児童館来館者数などにおいては前年度より減となったが、そうした中においても、各関係機関と連絡を密に取り、感染拡大防止に向けた対策を徹底しながら、市民の皆様のニーズを踏まえたうえで、コロナ禍における新しい事業展開のあり方などを模索し、オンライン会議システムを活用した講座の実施やYouTubeによる動画配信など新たな取り組みを行った。併せて、児童クラブ登録者数については前年度を大きく上回る実績を残し、地域コミュニティづくりの推進や児童の健全育成等について、一定の公益的使命を果たすことができた。また、新型コロナウイルス感染症への対応に当たっては、市から通知されるガイドラインに沿った的確な取扱いをし、市民活動等の自粛の呼びかけや感染拡大を予防する新しい生活様式などの導入に向けて積極的に取り組んだ。今後とも施設を安全安心に最大限に有効活用していただけるように、市民活動の再開に向けて、市と連携を密に対応して参りたい。</p>	<p>全般的に良好な業績である。事業推進やサービス提供にあたっては、長い実績と蓄積されたノウハウに基づき、新型コロナウイルス感染症による影響を除けば、予め設定した定量的な目標値を達成している。また、地域コミュニティの活性化及び児童の健全育成等についても、財団の担う公益的使命が達成されていると言える。今後も、地域における第一線を担う立場から、新型コロナウイルス感染症への対応も含め、市の施策と連動させながら効果的な事業展開に取り組んでいただきたい。</p>
2. 業務・組織管理	<p>これまで取り組んできた「児童館事業ステップアッププラン」を基礎に策定した「児童館事業計画（児童館子ども育成プラン）」や「市民センターアドバンスプラン」など中期的な計画を策定しての取り組みが一定の成果を挙げた。今後も、職種や階層に応じた研修を計画的に実施することで、職員のさらなるスキルアップや人材育成に努めながら、「財団中期経営計画」をベースとして様々な事業展開につなげて参りたい。</p>	<p>概ね良好な運営である。業務体制については、職員の適性や業務量に応じた人員配置、計画に基づく研修の実施のほか、R2年度からの法改正に基づく給与の見直し等、適切な業務体制が構築・維持されている。中期経営計画については、評価シートを作成して実績の評価・分析を行っている点も評価できる。</p>
3. 財務状況	<p>これまでと同様に、寄付金や入場料収入、グリーン・パル会員の会費収入等の自主財源の確保に努めているが、新型コロナウイルス感染症の影響によりかなり厳しい状況になっている。今後に向けては、計画的に公益事業に充てる自主財源の確保に、より一層取り組んで参りたい。</p>	<p>引き続きコスト意識を高く持ち、業務の効率化や継続的な自主財源の確保等、財務基盤の強化により一層取り組んでいただきたい。</p>
4. 今後の方向性及び課題	<p>当財団が実施している各種事業については、市の組織変更や方針の見直し、震災後の状況などを踏まえて、一層重要性が増しているところであり、併せて新型コロナウイルス感染症への対応など新しい取り組みが求められているものと認識している。これらの課題に的確に対応できるよう、ニーズの把握に努め、市や地域との連携を強化し、コロナ禍における新たな事業展開を模索するなどしながら、事業運営を進めて参りたい。</p>	<p>財団の多岐にわたる事業は、地域コミュニティの活性化等において大変重要な役割を担っている。新型コロナウイルス感染症への対応も市と連動して適切に行いながら、今後も地域との連携強化を図り、市民ニーズを反映した事業の拡充を進めていただきたい。</p>